

風薫る5月が始まります。当県では入梅の時期が気になる季節でもあります。今年は渇水傾向が続いており、いつにも増して慈雨が待たれます。とはいっても先日の本島地方の大雨は、大雨洪水警報は出るし、竜巻注意報も出るし、雷鳴は頻繁にあるしで、身の危険を感じました。極端気候の一端だったのかもしれませんが。道路冠水や突風などの被害はなかったでしょうか？当院では、これまで2度もすぐ近くに落雷があり、その都度復旧に時間がかかり大変でした。今年元日の能登半島地震、台湾の地震と災害が相次ぐ中、自院で可能な災害対策を改めて話し合いました。皆様も同様に感じておられるでしょう。

さて、今号のトピックスは何といっても横倉日本医師会名誉会長の講演会報告です。

先生には安里会長が就任当初より講演会をお願いされており、ご多忙の中、今般ようやくスケジュール調整が整い、来沖頂けました。講演内容は、先ず、医師会の歴史に始まり、わが国の医療体制、「かりつけ医機能」についてで、

制度化という言葉に振り回されないように、冷静に判断するように話されました。地域包括ケアシステムについても、個人ができることは少ないので面として地域を支える工夫、さまざまな専門性をもった医療者が協力できる体制構築が必要とされました。ご子息が積極的に関わってこられている災害対策に関しては、横倉会長の時期にJMATの体制が充実したと考えておりましたが、東日本大震災の時に日本医師会副会長として辣腕を振るっておられました。また、最後に世界医師会での活動をまとめておられました。世界の医師を代表するお立場で様々な分野への目配りは心を打たれました。超が付く激務をこなされたのちも日本医師会の名誉会長として私たちを導いて下さっている先生の益々のご活躍とご健康を祈念申し上げます。

このほかにも玉稿をたくさん頂戴いただきました。ご多忙の中、ご執筆の労をお取りいただきました著者の先生方には心から御礼申し上げます。

広報委員 白井 和美

